



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 前澤化成工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7925 URL <https://www.maezawa-k.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 淳一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 齋藤 巖 TEL 03-5962-0711
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,664	△1.9	382	13.6	493	15.5	356	25.7
2024年3月期第1四半期	5,772	5.3	336	△29.5	427	△25.3	283	△27.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 782百万円 (3.7%) 2024年3月期第1四半期 754百万円 (188.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	24.04	—
2024年3月期第1四半期	19.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	49,988	40,830	81.5
2024年3月期	49,353	40,420	81.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 40,734百万円 2024年3月期 40,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,130	3.4	950	16.0	1,080	11.6	700	9.6	47.19
通期	24,500	2.4	2,000	12.8	2,260	9.0	1,450	6.4	97.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	15,732,000株	2024年3月期	15,732,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	892,675株	2024年3月期	892,652株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	14,839,327株	2024年3月期1Q	14,822,912株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国内経済は、雇用・賃上げによる所得環境の改善や設備投資に持ち直しの動きが見られた他、コロナ禍からのインバウンド需要の回復が順調に進むなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、歴史的な円安の進行を主因とする物価上昇に伴い、実質賃金のマイナスが長期間にわたり継続している状況に比べ、長期化するウクライナ情勢・中国経済の減速リスクといった不安定な海外情勢が与える影響についても注視する必要があります。国内経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが関連する上水道・下水道業界及び住宅機器関連業界につきましては、政府による住宅取得支援策や低金利の継続が住宅購入層の需要を一定程度下支えしている状況にはありますが、住宅価格の高騰や将来的な金利上昇リスクの顕在化、税制改正に伴う住宅ローン控除の適用条件の厳格化などによって、消費者マインドの低下が顕著となっており、当社の業績に影響が大きい戸建て住宅の新設住宅着工戸数は、前年同期比91.4%と低調に推移するなど厳しい経営環境にあります。

こうした経営環境等を踏まえ、当社グループは2024年5月14日に2024年度から2026年度までの3か年を対象とした中期経営計画「SHIFT 2026」を公表いたしました。当中期経営計画については、Look Forward 2023からの継続課題を含め、当社の経営課題に向き合いつつ、今後確かな成長軌道を描いていくための「成長基盤の確立期」と位置付けており、その達成に向けた4つの基本方針「グループ収益力の強化/新たな企業価値の創出」「収益基盤の強化」「戦略的成長投資の実行と資本効率の向上」「サステナビリティ経営の推進」とこれらを実現するための重点戦略を掲げており、基本方針に基づいた重点戦略を着実に実行することで、持続的な成長と企業価値の向上を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、新設住宅着工戸数が大きく前年割れするなか、原材料価格高騰による影響を軽減すべく実施した価格改定や主力製品群の売上確保に努めてまいりました。

この結果、売上高は56億64百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益3億82百万円（同13.6%増）、経常利益4億93百万円（同15.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億56百万円（同25.7%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

①管工機材

管工機材セグメントにつきましては、戸建て住宅の新設着工戸数が低調に推移するなか、主力製品の売上確保と、重点販売製品として位置付けているエクステリア分野製品、災害分野製品の拡販に努めてまいりました。付加価値の高いエクステリア分野製品については、東京・名古屋・福岡といった主要都市において大規模な総合展示会に出展するなど、新たな需要の掘り起こしに注力し、販売強化を図ってまいりましたが、住宅着工戸数の減少の影響が大きく前期を下回る結果となりました。

以上により、売上高は52億9百万円（前年同期比1.9%減）、セグメント利益3億76百万円（同1.1%減）となりました。

②水・環境エンジニアリング

水・環境エンジニアリングセグメントにつきましては、お客様の水処理における「業務の効率化」と「環境保護」を目的とした多様な水処理システムの提案・施工を行うとともに、給排水衛生設備・農業用排水のポンププラントなど、各種工事の施工を行ってまいりました。

一定の期間にわたり収益を認識する（いわゆる旧工事進行基準）工事案件が多いため、売上・利益が下期に集中するセグメントとなりますが、前期からの持ち越し案件の工事進捗については計画通り進捗していることに加え、民需・官需の工事案件、メンテナンス業務の積極的な受注獲得に努めたことで、前期に比べ多くの案件形成を行うことができました。

以上により、売上高は1億99百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント損失4百万円（前年同期は42百万円のセグメント損失）となりました。

③各種プラスチック成形

各種プラスチック成形セグメントにつきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が和らぐなか、受注回復への期待もありましたが、国内製造業の戻りはまだまだ鈍く引き続き厳しい経営環境にあります。このような状況のなか、収益性を重視した経営の推進を図り、不採算案件からの撤退や自社ブランド製品の販売、フランジ加工といった収益性の高い新しい事業への挑戦を果敢に行ってまいりました。その結果、売上高こそ減収とはなったものの利益面では改善いたしました。

以上により、売上高は2億96百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益13百万円（同540.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ6億34百万円増加し、499億88百万円となりました。これは主として、株価上昇に伴う投資有価証券の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ2億25百万円増加し、91億58百万円となりました。これは主として、投資有価証券の含み益増加に伴い繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億9百万円増加し、408億30百万円となりました。これは主として、投資有価証券の株価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,241	13,192
受取手形、売掛金及び契約資産	4,981	4,524
電子記録債権	4,574	4,573
有価証券	2,210	2,110
商品及び製品	2,327	2,445
仕掛品	761	861
原材料及び貯蔵品	878	875
その他	556	799
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	29,531	29,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,303	13,303
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,378	△8,466
建物及び構築物(純額)	4,925	4,836
機械装置及び運搬具	11,995	12,028
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,165	△11,222
機械装置及び運搬具(純額)	829	806
工具、器具及び備品	17,849	17,924
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,600	△17,656
工具、器具及び備品(純額)	248	268
その他	240	240
減価償却累計額及び減損損失累計額	△149	△154
その他(純額)	90	86
土地	4,353	4,357
建設仮勘定	182	134
有形固定資産合計	10,630	10,490
無形固定資産		
のれん	133	129
ソフトウェア	353	358
その他	67	77
無形固定資産合計	554	565
投資その他の資産		
投資有価証券	7,908	8,821
繰延税金資産	52	54
退職給付に係る資産	157	156
その他	666	668
貸倒引当金	△148	△148
投資その他の資産合計	8,636	9,552
固定資産合計	19,821	20,608
資産合計	49,353	49,988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,885	2,528
電子記録債務	881	1,605
短期借入金	330	330
未払法人税等	464	314
賞与引当金	460	276
役員賞与引当金	48	9
その他	2,352	2,458
流動負債合計	7,422	7,522
固定負債		
繰延税金負債	875	1,003
役員株式給付引当金	59	63
役員退職慰労引当金	154	154
資産除去債務	227	227
その他	193	185
固定負債合計	1,510	1,635
負債合計	8,932	9,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,368	6,368
利益剰余金	28,541	28,524
自己株式	△1,014	△1,014
株主資本合計	37,282	37,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,816	3,244
退職給付に係る調整累計額	226	223
その他の包括利益累計額合計	3,042	3,468
非支配株主持分	95	95
純資産合計	40,420	40,830
負債純資産合計	49,353	49,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,772	5,664
売上原価	3,797	3,629
売上総利益	1,975	2,035
販売費及び一般管理費	1,639	1,653
営業利益	336	382
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	52	61
受取賃貸料	23	22
その他	17	27
営業外収益合計	95	115
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	4	4
経常利益	427	493
特別利益		
投資有価証券売却益	3	40
特別利益合計	3	40
特別損失		
固定資産除却損	1	0
リース解約損	—	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	429	533
法人税、住民税及び事業税	192	235
法人税等調整額	△46	△59
法人税等合計	146	176
四半期純利益	282	357
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	283	356

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	282	357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	470	428
退職給付に係る調整額	2	△2
その他の包括利益合計	472	425
四半期包括利益	754	782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	755	782
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	管工機材	水・環境エンジニアリング	各種プラスチック成形	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
売上高						
一時点で移転される財	5,305	102	279	5,688	—	5,688
一定の期間にわたり移転される財	—	84	—	84	—	84
顧客との契約から生じる収益	5,305	187	279	5,772	—	5,772
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,305	187	279	5,772	—	5,772
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	35	38	△38	—
計	5,309	187	315	5,811	△38	5,772
セグメント利益又は損失(△)	380	△42	2	339	△3	336

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	管工機材	水・環境エンジニアリング	各種プラスチック成形	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
一時点で移転される財	5,207	112	258	5,577	—	5,577
一定の期間にわたり移転される財	—	87	—	87	—	87
顧客との契約から生じる収益	5,207	199	258	5,664	—	5,664
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,207	199	258	5,664	—	5,664
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	—	38	41	△41	—
計	5,209	199	296	5,706	△41	5,664
セグメント利益又は損失(△)	376	△4	13	385	△3	382

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	258百万円	239百万円
のれんの償却額	3	3